

様式3

事業収支計画書

1 【補助対象事業の収支計画】

(1) 収入の部（資金調達計画）

（単位：円）

区 分	予算額（調達金額）	融資利率	融資期間	備 考（金融機関名等）
自己資金		%	年 カ月	
借入		%	年 カ月	
その他の収入				
合 計（A）				

(2) 支出の部（資金投資計画）

※開業月までの経費について記載してください。

（単位：円）

区 分	予算額（投資額）	内訳等
補助対象経費	店舗改装費	
	付帯設備設置費	
	備品購入費	
	普及宣伝費	
	その他	
	計	
対象外経費	仕入	
	賃料	
	敷金等	
	人件費	
	水光熱・通信費	
	リース料	
	その他	
	計	
合 計（B）		

運転資金（A） - （B）		上記の収入の支出が、当面の運転資金となるように記入してください。
---------------	--	----------------------------------

※制度融資を申請中である場合は、融資申請書（写）など、申請内容のわかる書類を添付してください。

## 2 【返済の計画】

(単位：円)

資金名		区分	1年目 (R 2.10~12)	2年目	3年目
新規借入金返済計画	借入①	元金			
		利息			
	借入②	元金			
		利息			
	借入③	元金			
		利息			
小計	元金				
	利息				
既借入金返済計画	④	元金			
		利息			
	⑤	元金			
		利息			
	⑥	元金			
		利息			
	小計	元金			
		利息			
返済額合計 (A)		元金			
支払利息合計		利息			

3 【利益計画書】 (法人用)

(単位：円)

勘定科目		1年目 (10月～12月)	2年目	3年目
売上高①				
売上原価②				
売上総利益③=①-②				
販売 管理 費	減価償却費(B)			
	役員報酬			
	従業員給与・手当			
	地代家賃			
	水道光熱費・通信費			
	支払利息			
	その他			
計④				
営業利益⑤=③-④				

※備考(経費内訳)

※実際には、上記に加え、営業外損益、特別損益、法人税などを支払うこととなるため、考慮したうえで、無理の無い計画を立てるようにすること。

※借入金がある場合は、下表を記入すること。

返済財源	前期繰越金			
	減価償却費(B)			
	営業利益⑤			
	合計(D)			
返済額等	借入金返済額(A)			
	配当金			
	合計(E)			
次期繰越金(D) - (E)				

4 【売上高計算の根拠】 (客単価、客数などの見込みを示してください)

様式3

事業収支計画書

1 【補助対象事業の収支計画】

(1) 収入の部（資金調達計画）

（単位：円）

区 分	予算額（調達金額）	融資利率	融資期間	備 考（金融機関名等）
自己資金	2,500,000			
借入	7,000,000	%	年 カ月	
その他の収入				
合 計（A）	9,500,000			

(2) 支出の部（資金投資計画）

※開業月までの経費について記載してください。

（単位：円）

区 分	予算額（投資額）	内訳等
補助対象経費	店舗改装費	4,500,000 内装工事、水道工事、電気工事
	付帯設備設置費	1,200,000 業務用冷蔵庫、オープン、空調設備
	備品購入費	500,000 調理機材（〇〇、△△・・・）
	普及宣伝費	200,000 チラシ作成・ポスティング
	その他	
	計	6,400,000
対象外経費	仕入	300,000 材料費
	賃料	200,000 2か月分
	敷金等	400,000
	人件費	
	水光熱・通信費	50,000
	車両費等	
	その他	
計	950,000	
合 計（B）	7,350,000	

【内訳等】  
可能な範囲でわかりやすく記載してください。

運転資金（A）－（B）	2,150,000	上記の収入の支出が、当面の運転資金となるように記入してください。
-------------	-----------	----------------------------------

※制度融資を申請中である場合は、融資申請書（写）など、申請内容のわかる書類を添付してください。

## 2【返済の計画】

(単位：円)

資金名		区分	1年目 (R 2.10~12)	2年目	3年目	
新規借入金返済計画	借入①	元金	233,506	945,778	964,866	
		利息	34,610	126,686	107,598	
	借入②	元金				
		利息				
	借入③	元金				
		利息				
	小計	元金	233,506	945,778	964,866	
		利息	34,610	126,686	107,598	
	既借入金返済計画	④	元金			
			利息			
⑤		元金				
		利息				
⑥		元金				
		利息				
小計		元金	0	0	0	
		利息	0	0	0	
返済額合計 (A)		元金	233,506	945,778	964,866	
支払利息合計		利息	34,610	126,686	107,598	

3【利益計画書】(法人用)

(単位:円)

勘定科目	1年目 (10月~12月)	2年目	3年目	
売上高①	3,769,220	15,076,880	15,076,880	
売上原価②	1,200,000 (31.84%)	4,800,000 (31.84%)	4,800,000 (31.84%)	
売上総利益③=①-②	2,569,220	10,276,880	10,276,880	
経費	減価償却費(B)	200,000	200,000	200,000
	役員報酬	225,000	1,800,000	1,800,000
	従業員給与・手当			
	地代家賃	300,000	1,200,000	1,200,000
	水道光熱費・通信費	450,000	1,800,000	1,800,000
	支払利息	34,610	126,686	107,598
	その他	300,000	1,200,000	1,200,000
	計④	1,509,610	6,326,686	6,307,598
営業利益⑤=③-④	1,059,610 (28.11%)	3,950,194 (26.20%)	3,969,282 (26.33%)	

開業準備を始めた月(経費がかかり始めた月)から、その年の12月まで。2年目以降は、各年の1月から12月までの1年間としてください。

※備考(経費内訳)
...
アルバイト7.5万円 1年目1人、2年目以降2人
...
(月額)水道15,000円、ガス代95,000円、電気代35,000円、Wifi 5,000円
...
(月額)広告宣伝費50,000円、消耗品30,000円、雑費20,000円

下記内容はあくまで一例です。規模感に合うよう、適切な計画を立ててください。

経費内訳については、行を増やさずに記入できる範囲で、主なものを記入することとし、項目名は適宜修正してください。

※実際には、上記に加え、社会保険や住民税などを支払うこととなるため、考慮したうえで、無理の無い計画を立てるようにすること。

※借入金がある場合は、下表を記入すること。

返済財源	前期繰越金	2,150,000	3,176,104	7,326,298
	減価償却費(B)	200,000	200,000	200,000
	可処分所得(C)	1,059,610	3,950,194	3,969,282
	合計(D)	3,409,610	7,326,298	11,495,580
返済額等	借入金返済額(A)	233,506	0	945,778
	配当金			
	合計(E)	233,506	0	945,778
次期繰越金(D)-(E)		3,176,104	7,326,298	10,549,802

4【売上高計算の根拠】(客単価、客数などの見込みを示してください)

客単価	〇〇円
席数	△△席
回転数	平日ランチ〇回転、平日ディナー△回転、休日ランチ〇回転、休日ディナー△回転
以上により、〜〜	